

# 5 成績評価

## ■ GPA制度

成績評価をより明確にし、学生自身が自らの進捗を把握することにより、授業に対する意識を高め、学修に役立てることを目的として、2009年度より従来の優、良、可、不可の評価方法に代わるGPA制度を導入しています。

## ■ GPA (Grade Point Average)

GPAとは、履修登録科目の成績をS、A、B、C、Fの5段階で評価し、Sにグレードポイント(GP)4点、Aに3点、Bに2点、Cに1点、Fに0点を割り振り、それぞれの単位数を掛け、その合計ポイントを履修単位数の総和で割って出した平均点のことです。

$$GPA = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{成績評価グレードポイント})] \text{の総和}}{\text{履修登録科目の総単位数 (不合格科目の単位を含む)}}$$

## ■成績評価の方法・基準

成績評価は、定期試験の得点のみで評価するのではなく、授業担当教員がシラバスに明示した評価の方法・基準に基づき、準備学習、小テスト、レポート、日常の授業への取り組み等々を総合的に判断して出した成績(総合点)をもとに、下記の判定基準によりSからFまでの評価をします。

## ■判定基準

評価	成績(総合点)	判定	GP	内容
S	100点～90点	合格	4	特に優秀な成績
A	89点～80点		3	すぐれた成績
B	79点～70点		2	その科目の要求を満たす成績
C	69点～60点		1	合格と認められる最低限の成績
F	59点以下 および 履修放棄	不合格	0	合格ラインに達していない成績 期間内に履修辞退の手続きを取らなかったもの出席数 不足などで受験資格を喪失したもの
T	単位認定	GPA対象外	—	留学や他大学での単位修得(GPに換算しない)
P	成績評価はしない	合格/不合格	—	合格すれば単位を認定するがGPに換算しない

※指定された期限内に履修辞退の手続きを済ませたものは評価の対象から除きます。

※次の科目は、評価をPとして扱います。

人間社会学部

キャリアデザイン演習Ⅰ

キャリアデザイン演習Ⅱ

人間社会学科

インターンシップⅠ

インターンシップⅡ

外国文化フィールドワーク

日本文化フィールドワーク

心理実習

コミュニティ福祉学科

キャリアスタディ

海外福祉現地研究

## ■ GPAの利用

毎学期のGPAを参考に、学生一人ひとりに対して、ゼミ担任またはクラス担任からきめ細かな指導が行われます。場合によっては、保証人（保護者）との面談もあります。

- (1) 1年次の前期のGPAが1.5未満または修得単位数が12単位未満の場合、1年次後期開始時に教務部長による集団指導を行う。また、必要があれば、ゼミ担当教員、教務部長あるいは学科長が個別指導も行う。
- (2) 1年次の通年GPAが1.0未満または修得単位数が24単位未満の場合、2年次前期開始時に学科長による集団指導を行う。また、必要があれば、ゼミ担当教員あるいは学科長が個別指導も行う。
- (3) 2年次後期以降、前学期ごとのGPAが1.0未満または修得単位数が12単位未満（4年次を除く）の場合、ゼミ担当教員による個別指導を行う。
- (4) 2期連続して上記学習指導の対象となった学生に対しては、ゼミ担当教員あるいは学科長が、本人と面談を行い、その保証人に連絡を行う。
- (5) 3期連続して学習指導の対象となった学生に対しては、ゼミ担当教員及び学科長が、本人およびその保証人に対して面談を行い、必要に応じて退学の勧告を行う場合がある。

## ■「成績通知表」・「成績証明書」

- (1) 「成績通知書」は、次学期のオリエンテーション（9月、4月）で配布します。4年生の後期の成績は卒業礼拝日に配布します。
- (2) 「成績通知書」には、履修科目の成績のほか、学期ごとのGPAおよび通算のGPAが表示されます。
- (3) 「成績通知書」は、保証人にも送付されます。
- (4) 「成績証明書」には、不合格科目は表示されません。GPAは通算のみ表示されます。

## ■成績不服申立制度

「成績通知表」に記載された成績評価に関して疑問がある場合や異議を申し立てたい場合は、成績発表日を含めて7日以内に「成績評価に関する不服申立書」（所定用紙）へ必要事項を記入のうえ、学部事務室に提出してください。ただし、正当な理由がある場合に限りです。